

佐倉市・酒々井町 選出

千葉県議会議員

川口えみ

市民ネットワーク

県政レポート

2024年7月発行



新事実!

PFASと自衛隊基地

昨年8月 いち早く現地調査

県の環境研究センターの調査で、白井市の金山落(かなやまおとし)という用水路で、高い濃度のPFAS(有機フッ素化合物の総称。発がん性が指摘されています)が検出されていました。8月10日、現地調査を行ったところ、水路の上流に、海上自衛隊下総航空基地がありました。

12月県議会で質問

下総基地では、3年前まで5140LのPFOS含有消火剤を保有していました。因果関係を調べる必要があると考え、「自衛隊に汚染調査への協力を依頼してほしい」と県に求めました。

当初、「自衛隊には依頼できない」と及び腰だった県も、全国でPFAS汚染の報道が続く中ようやく調査に踏み切りました。

新たに汚染が見つかる

3月、県と柏市が、金山落とそこに流入する水路を調査したところ、7地点で国の暫定指針値(50ng/L)を超過。最大で1800ng/Lを検出しました。その後、超過地点から200m以内の井戸を県と3市が追加調査したところ、柏市と鎌ヶ谷市内の井戸25か所で、指針値を超過。最大は、鎌ヶ谷市内で、12000ng/Lでした。

更なる対応を求め委員会で質問

6月27日、千葉県と、柏市・鎌ヶ谷市・白井市の4者合同で、自衛隊下総基地に対し、基地内の水路や排水設備等の調査を申し入れました。

また、2022年千葉市の陸上自衛隊下志津駐屯地の水槽で380,000ng/Lを検出。7月常任委員会で、自衛隊内の調査、住民の健康調査や相談窓口の設置、更に国に対し厳しい水質基準値にするよう要望すべきと指摘しました。



水路
● 3月測定 of 7地点のうち高い地点
● 4月測定 of 井戸のある地域

白井市では全て指針値以下

市民ネットワークおひさま発電所 稼働中



5月5日、現地を訪問。パネルは細く、採光と風通しを確保。畑には大豆を栽培予定です。

市民ネットワークの政策の柱である

「再生可能エネルギーによるまちづくり」の実践のため、匝瑳市でソーラーシェアリングを始めました。パネルオーナーを募集し、運営会社「市民エネルギーちば(みんエネ)」の分と合わせ、「おひさま発電所」として504枚が稼働中です。4月の実績は7618kwhと順調に発電しています。

ソーラーシェアリングは耕作放棄地を活用し、パネルの下は作物を育てる農地となります。

パネルは9割以上リサイクル可能です。環境を破壊せず、地域に根差したエネルギー政策です。



危険な通学路 西志津1丁目



勝田台4号踏切を通る通学路は、非常に狭く、側溝を緑色で塗っただけ。296号からの抜け道になっており、朝は速度を出した車がくると、踏切付近に車・自転車・人がたまり、危険です。

西志津側の通学路の1本隣の道路には、広い歩道があるのに、渡るための横断歩道がついていません。通学路の見直しに繋がるよう、県警に横断歩道設置を要望しました。

子どもたちの安全確保のため、住民や市議と連携し、さまざまな角度から取り組みます。(7/3)



ここに横断歩道を

京成佐倉北口エレベーターを

京成佐倉駅の北口にエレベーターを設置してほしいという市民の声が高まっています。国の補助金が出ない中、千葉市の京成大森台駅では、千葉県の補助金を活用して、エレベーター設置が進んでいます。佐倉市も、大森台駅を参考にして、県と至急協議するよう求めています。(6/13)



里親さんのお話

千葉市児童相談所を訪ね、養育里親であるAさんのお話を聞きました。養育里親は、家庭に恵まれない子どもを一定期間養育する里親です。「はじめは戸惑ったけれど、子どもの人生に関われるのが大きな喜び」と語るAさん。県では児童相談所を増設する予定ですが、定員超過の解消までには至っていません。子どもたちを長期に預かる里親制度の拡充が必要です。(6/6)



連絡先 市民ネットワーク千葉県

〒260-0013 千葉県千葉市中央区4-10-11 アイビル4F

電話・FAX 043-201-1051

mail: info@chiba-kennet.com

